

閣議及び閣僚懇談会議事録

開催日時：令和6年10月4日（金） 9：02～9：11

開催場所：総理大臣官邸閣議室

出席者：石 破 茂 内閣総理大臣
村 上 誠一郎 国務大臣（総務大臣）
牧 原 秀 樹 国務大臣（法務大臣）
岩 屋 毅 国務大臣（外務大臣）
加 藤 勝 信 国務大臣（財務大臣、内閣府特命担当大臣）
あ べ 俊 子 国務大臣（文部科学大臣）
福 岡 資 麿 国務大臣（厚生労働大臣）
小 里 泰 弘 国務大臣（農林水産大臣）
武 藤 容 治 国務大臣（経済産業大臣、内閣府特命担当大臣）
斉 藤 鉄 夫 国務大臣（国土交通大臣）
浅 尾 慶一郎 国務大臣（環境大臣、内閣府特命担当大臣）
中 谷 元 国務大臣（防衛大臣）
林 芳 正 国務大臣（内閣官房長官）
平 将 明 国務大臣（デジタル大臣、内閣府特命担当大臣）
伊 藤 忠 彦 国務大臣（復興大臣）
坂 井 学 国務大臣（国家公安委員会委員長、内閣府特命担当大臣）
三 原じゅん子 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
赤 澤 亮 正 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
城 内 実 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
伊 東 良 孝 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
陪 席 者：橘 慶一郎 内閣官房副長官
青 木 一 彦 内閣官房副長官
佐 藤 文 俊 内閣官房副長官
岩 尾 信 行 内閣法制局長官

閣議案件：別添案件表のとおり。

○一般案件 2件

○人事 3件

○配布 2件

いずれも、案件表のとおり、決定等となった。

議事内容：

○林国務大臣：ただ今から、閣議を開催いたします。

まず、閣議案件について、橋副長官から御説明申し上げます。

○橋内閣官房副長官：一般案件について、申し上げます。まず、昨日の臨時閣議において御検討いただきました、内閣総理大臣所信表明演説案について、御決定をお願いいたします。なお、内閣総理大臣所信表明演説案についての検討閣議からの主な変更点について、御説明申し上げます。お手元の資料をご覧ください。5ページの7行目、記述を「暴漢に襲われ」に改めております。8ページの7行目、記述を「女性の方が多く転出する状況」に改めております。15ページの4行目、記述を「多くの尊い人命が失われました。」に改めております。23ページの1行目、記述を「国民の皆様、並びに、この場に集う全国民を代表される国会議員の皆様」に改めております。

次に、信・解任状に認証を仰ぐことについて、御決定をお願いいたします。本件は、「エストニア国」及び「ラトビア国」駐箚特命全権大使の異動に伴い、交付すべき信任状及び解任状であります。

次に、人事案件について、申し上げます。まず、外務省人事といたしまして、サウジアラビア国駐箚大使岩井文男に、エジプト国駐箚を命ずることを承認することについて、御決定をお願いいたします。

次に、佐藤進外298名の叙位又は叙勲について、御決定をお願いいたします。なお、元参議院議員松前達郎及び元日本労働組合総連合会会長高木剛をそれぞれ従三位に叙するものがあります。

次に、件名外の人事案件について、申し上げます。第214回国会における政府特別補佐人として、人事院総裁、内閣法制局長官、公正取引委員会委員長、原子力規制委員会委員長及び公害等調整委員会委員長の5名を国会に出席させるため、両議院議長の承認を求めることについて、御決定をお願いいたします。なお、本件は両議院議長に通知するまで、不公表扱いといたしたいので、御了承をお願いいたします。

○林国務大臣：次に、大臣発言がございます。まず、内閣総理大臣から御発言がございます。

○石破内閣総理大臣：能登地域においては、1月の地震や先般の大雨により多くの方々方が被災し、厳しい状況に置かれております。被災地のニーズや被災者の方々の方々の声をよく踏まえながら、早期の復旧・復興に向けた対応に万全を期してまいります。10月中旬を目途に追加の予備費措置を講ずるよう、関係大臣間で調整してください。その後も、切れ目なく、被災地の必要な支援に取り組みます。

全ての人々が安心と安全を感じられる未来を創るためには、物価上昇を上回って賃金が上昇し、設備投資や人への投資が積極的に行われ、成長と分配の好循環が力強く回っていく経済を実現しなければなりません。我が国経済は、5.10パーセントの賃上げ、最低賃金の過去最大の引上げ、名目100兆円超の設備投資、名目600兆円を超えたGDPなど、新型コロナを乗り越えて改善を続けていますが、

GDPの5.4パーセントを占める個人消費は力強い回復には至っていません。好循環を後戻りさせることなく、デフレからの脱却を確実なものとするため、3年間の集中的な取組が必要です。

こうした考え方のもと、足元で物価高に苦しむ方々への支援、デフレ脱却を確かなものとするための成長力強化、災害対応を含む安心・安全の確保といった重要課題に速やかに対応することを目的として、「総合経済対策」を策定します。

経済対策の柱は、第1に、物価高の克服です。物価上昇を上回って賃金が上昇するといった成長と分配の好循環が確実に回り出すまでの間、足元で物価高に苦しむ方々への支援が必要です。当面の対応として、物価高の影響を特に受ける低所得者世帯向けの給付金や、地域の実情に応じたきめ細かい対応のための重点支援地方交付金を始め、総合的な対応を図ります。構造的な対応として、家庭・住宅の省エネ・再エネなどエネルギーコストの上昇に強い社会の実現に向けた対応も図ります。

第2に、日本経済・地方経済の成長です。ICT技術も活用して、新たな地方創生施策の展開「地方創生2.0」を図ります。食料安全保障の観点から踏まえた農林水産業の支援のほか、地方のサービス業、観光などの各分野において、地方の潜在能力を最大限に引き出す取組を進めます。中堅・中小企業の賃上げ環境の整備として、省力化投資の促進や価格転嫁の徹底等を進め、賃上げの継続を支援します。科学技術・イノベーション、半導体・経済安全保障、GX、DX、スタートアップなど、成長力に資する国内投資促進に取り組めます。

第3に、国民の安心・安全の確保です。能登地域を始めとする自然災害からの復旧・復興に全力を尽くします。今後も想定される災害への備えに万全を期すため、防災体制の抜本強化や避難所環境の整備など防災・減災、国土強靱化の取組を進めます。外交・安全保障環境への変化にも的確に対応します。こども・子育て支援を含め、誰も取り残さない社会の実現にも取り組めます。

以上3つの柱に沿って、経済財政政策担当大臣を中心に、与党とも十分連携して、具体的な施策の検討を進めていただきますようお願いいたします。来るべき総選挙後、速やかに経済対策を決定して補正予算を提出いたします。取りまとめに当たっては、課題の性質に応じて、規制・制度改革や財政投融资の手法なども積極的に活用してください。財政措置を伴うものについては、財務大臣と十分に内容を協議願います。

閣僚各位におかれましては、国民の皆様の声を聞き、与党とも十分連携して、施策の具体化に取り組んでいただくよう、よろしくお願い申し上げます。

○林国務大臣：次に、総務大臣。

○村上国務大臣：石破総理とも御相談の上で渡辺孝一総務副大臣及び西田昭二総務大臣政務官に、国会対応も含め、郵政民営化を担当する大臣としての私の補佐をするよう指示いたしましたので、御報告いたします。

○林国務大臣：次に文部科学大臣。

○あべ国務大臣：石破総理とも御相談の上、武部新文部科学副大臣及び金城泰邦文部科学大臣政務官に教育未来創造会議に関する事務を担当する大臣としての私の補

佐を、国会対応も含め、行うよう指示いたしましたので、御報告いたします。

○林国務大臣：次に、経済産業大臣。

○武藤国務大臣：石破総理とも御相談の上、上月良祐経済産業副大臣及び石井拓経済産業大臣政務官に、国会対応も含め、産業競争力を担当する大臣としての私の補佐をするよう指示いたしましたので、御報告いたします。

○林国務大臣：次に、国土交通大臣。

○斉藤国務大臣：石破総理とも御相談の上、水循環政策については、堂故国土交通副大臣及びこやり国土交通大臣政務官に、国際園芸博覧会については、堂故国土交通副大臣及び石橋国土交通大臣政務官に、それぞれ国会対応も含め、担当大臣としての私の補佐をするよう指示いたしましたので、御報告いたします。

○林国務大臣：これをもちまして、閣議を終了いたします。

引き続き、閣僚懇談会を開催いたします。

御発言はございますか。

無いようですので、以上をもちまして、閣僚懇談会を終了いたします。

閣 議 案 件 〔 令 和 6 年
10 月 4 日 〕 (金)

◎ 一 般 案 件

- 資 料 あり ○ 第 2 1 4 回 国 会 に お け る 石 破 内 閣 総 理 大 臣 所 信 表
資 料 な し ☆ エ ス ト ニ ア 国 駐 筭 特 命 全 権 大 使 中 村 耕 一 郎 外 1 名
に 交 付 す べ き 信 任 状 及 び 前 任 特 命 全 権 大 使 松 村 之
彦 外 1 名 の 解 任 状 に つ き 認 証 を 仰 ぐ こ と に つ い て
(決 定) (外 務 省)

◎ 人 事

- 資 料 あり ○ 各 府 省 幹 部 職 員 の 任 免 に つ き 、 内 閣 の 承 認 を 得 る
こ と に つ い て (決 定)
〃 ○ 元 検 事 佐 藤 進 外 2 9 8 名 の 叙 位 又 は 叙 勲 に つ い て (決 定)

◎ 配 布

- ☆ 労 働 力 調 査 報 告 (総 務 省)
☆ 有 効 求 人 倍 率 (令 和 6 年 8 月) (厚 生 労 働 省)

[○ 署 名 あり ☆ 署 名 な し]

件名外案件

〔令和6年〕
10月4日 (金)

◎人事

資料なし ○第214回国会政府特別補佐人について、両議院の議長の承認を求めることについて（決定）

〔○署名あり ☆署名なし〕